

2023年パリエアショー

航空宇宙工業会国際交流・広報事業

(一社)日本航空宇宙工業会(以下、SJAC)は、令和5(2023)年6月19日から25日に開催された「第54回パリエアショー2023」に参加し、我が国の航空宇宙工業に関する国際交流・広報活動を実施した。その活動結果を次の通り報告する。

1. 国際交流活動

(1) 会長レベルの交流

①米国航空宇宙工業界(AIA)幹部との交流

開会式前日の6月18日(日)夜、米国航空宇宙工業会(AIA)主催のレセプションがパリ市内で開催された。総勢600名規模の盛大

なもので、SJACからは満岡会長をはじめ副会長ほか招待された。レセプション開催に先立ち、VIPのみが参加する場に満岡会長と高橋副会長が招待され、AIAの幹部との交流を深められた。



AIA VIPレセプションにて
左からSJAC 満岡会長、AIA Tom Gentile 会長
(Spirit AeroSystems社 CEO)、
SJAC 高橋副会長



同レセプションにて
SJAC 満岡会長、AIA Theodore Colbert III
副会長 (Boeing社Executive Vice
President)、SJAC 高橋副会長

(2) SJAC会員企業を含めた他国の航空宇宙工業会との交流

①SJAC-フランス航空宇宙工業会(GIFAS) -欧州航空宇宙防衛工業会(ASD)共催 レセプション開催

6月19日(月)午後、パリエアショー2023会場内のGIFASシャレーにおいてSJAC-ASD-GIFASの各メンバー企業や政府関係者

を含む総勢100名ほどが参加した3団体共催のレセプションを開催した。ASDのJan Pie専務理事に続き、SJAC満岡会長の挨拶が行われ、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の山川宏理事長による乾杯の発声が行われた。レセプション会場では、欧州と日本からの参加者の間で盛んな交流が行われた。



パリエアショー GIFASシャレーにて
左からGIFAS 日本代表 Alain Correia氏、ASD Jan Pie専務理事、
JAXA 山川理事長、SJAC 満岡会長

②カナダ航空宇宙工業会（AIAC）・在仏カナダ大使共催レセプション参加
6月19日（月）夕刻に同レセプションが在仏カナダ大使公邸で開催され、SJACからは満岡会長代理としてIHI五味防衛システム事

業部長と戸塚副会長代理としてSUBARU鈴木カンパニーヴァイスプレジデントが招待され、この機会に幹部間での交流を深められた。



AIACレセプションにて
AIAC Mike Mueller CEO兼専務理事（左から4番目）をはじめとした参加者

(3) 各国工業会等との主な情報交換

パリエアショーの機会を利用して各国工業会等と情報や意見交換を行ったので併せて報告する。

①米国航空宇宙工業会（AIA）との面談

6月20日の午後にEric Fanning専務理事と面談した。まずは、ICCAIAの会費増額について現状の認識を確認した。（注：ICCAIAはAIA、ASD、AIAC、AIAB（ブラジル航空宇宙工業会）、SJACが議決権を有する民間航空機産業の業界団体）具体的には、Eric氏と当会専務理事との間で4月に行った電話会議通り、AIAが自らの負担分を増やすことにSJACは反対せず、SJAC負担分は金額的に現状とし、ICCAIAのBy Laws（規約）は変更しないこと等を確認した。ASDも増額の方向、AIACは当会と同じ立場（少し増額する可能性あり）、AIABの立場は不明とのコメントもあった。実際の増額は2025年度からになる見込みであるとのこと。その他にICCAIA関連では、ロシアが参加する国際民間航空機関（ICAO）の会議における技術情報の扱いについて米国商務省等との調整が続いているとのこと。今後も技術情報の扱いについては各国政府の輸出管理に従っておこなっていくことになるので、お互いに情報交換をしていくこととした。

この機会にJA2024（2024年10月開催）のKey Note Speakerにつき、AIA会長に依頼したいとお話したところ、調整を快諾していただいた。（注：ASDへもASD会長によるKey Note Speakerの依頼を今回のエアショーの機会に行っており、今後調整していくこととしている。）

②英国航空宇宙工業会（ASD）との面談

6月20日の午後にKevin Craven専務理事ほか

と面談を行った。まずは、イベント関係での協力関係として、DSEIロンドン（2023/9）、ファンボロー（2024/7）、JA2024（2024/10）とお互いにイベントがあることを確認し、協力関係を深めていくこととした。

次に、ADSのメンバーには約900社の中小企業（SMEs）がおり、会費収入の約50%を占める存在であり、ゆえにSJACとSMEsの活動につき協力していくことを考えたいとのコメントがあった。SJACからは、日本のSMEsで海外市場まで志向していく会社はごく一部であり、多くは大手企業の系列（傘下）のSMEsであり、またSJACの会員企業のなかでSMEsが占める割合は限られている状況を説明した。ADSにおけるSMEsの状況とSJACの状況は大きく違うことを理解していただき、SMEs支援を今後考えていく際には各々の状況を理解しながら進めていくこととした。

③シンガポール航空宇宙工業会（AAIS）との面談

6月21日の午前にSIAKheng Yok専務理事と情報交換を行った。民間航空機需要が戻ってきているとの印象を強く持っているとのこと、またシンガポールエアショーへの日本企業の参加を増やしたいとのコメントもあった。当会からは、この機会にJA2024の宣伝も行った。

④モロッコ政府投資庁との面談

6月21日の午後にモロッコ投資庁との面談を行った。モロッコは、ボーイング社やエアバス社の1次、2次下請けとして発展を続けているとのこと。また、2023年10月に同国カサブランカにおいてAerospace International Business Conventionを企画しているとの説明があった。本年10月のため、展示は無理であるが視察については9月～10月は予定が立て

込んでいるので持ち帰り調整してみたいとコメントした。この機会にJA2024の勧誘も行った。

⑤カナダ航空宇宙工業会（AIAC）との面談

6月21日の午後にMike Mueller専務理事と打合せを行った。まずは、6月19日のレセプションへの招待のお礼をおこない、次にICCAIA関連の情報交換をおこなった。ICCAIAの会費については、AIA（米国）とASD（欧州）が負担分を増額することには反対せず、AIACの負担分は現状をベースとしプラスアルファの可能性を検討しているとのこと。実際にICCAIAとしての負担が増えるのは2025年からになるので、AIACのボードとも相談していくが、プラスアルファ分は難しいかもしれないとのこと。JA2024については予算措置を政府と行っており、AIACとしてはカナダ企業の参加の広報宣伝活動を始めていくので、SJACは在日カナダ大使館へのフォローを続けてほしいとのコメントがあった。

⑥マレーシア航空宇宙工業会（MAIA）との面談

6月23日の午後にDavid Jones理事と面談をおこなった。MAIAからは、パリエアショー2023の会期中に日本の経済産業省とマレーシア政府（NAICO）との打合せに同席したが、工業会としてはNAICOと連絡を密にしている状況で、すぐに何か行動を起こす状況ではないとのことであった。小職もNAICOのShamsul Samah CEOと会場内で立ち話の機会に、MAIAと連絡を密にしているとお話したところよろしくとのコメントをいただいたことを伝え、MAIAとSJACはお互いに今後も連絡を取り合っていくこととした。

ICCAIAについては、MAIAの準メンバーの契約更改に際してはMAIA内でICCAIAの

Valueについて丁寧な議論が必要になり、ICCAIAの会費の増額もその議論次第になるとのコメントがあった。当会からは、JA2024について改めて説明や勧誘を行った。

⑦韓国航空宇宙工業会（KAIA）との面談

6月23日の午後にKAIAのKim Min Seok Vice ChairやSeoul ADEXのBong Soo Han部門長ほかとの面談を行った。お二方とも韓国軍のご出身とのこと。日韓関係改善にともなう工業会間の関係改善、2023年10月開催のSeoul ADEX、SJAC組織運営などについて意見交換を行った。Seoul ADEXとJA2024との間でブース交換についても打診があり、今後事務方で調整していくこととした。

⑧ブラジル エンブラエル社との面談

6月20日の午後にエンブラエル社のHussein Dabbas氏（国際関係部門担当）と面談を行った。2023年度の貿易会議はブラジル訪問を計画しており、9/11の週の実施し同社へは9/13、14の訪問を計画していることを改めて説明するとともに、訪問規模（20名前後）や訪問内容（民間航空機製造とAAM（Advanced Air Mobility）部門の視察を希望していること）について説明を行った。また、ブラジル政府関係は在日ブラジル大使館経由のアポイントとすることも確認した。当会の活動等についてもこの機会に説明し、AIABとともに取り組んでいるICCAIAでの活動も説明を行った。

なお、上記以外に会場内等において、GIFAS、ドイツ航空宇宙工業会（BDLI）、メキシコ航空宇宙工業会（FEMIA）、中国航空学会（CSAA）、韓国防衛装備工業会（KDIA）、米国フロリダ州、米国ワシントン州、カナダ ケベック州、英国 ウェールズ州、ドバイエアショー事務局、シンガポールエア

ショー事務局等と情報や意見の交換を行っている。

2. 国際広報活動

(1) 2023年「第54回パリエアショー」の概要

①会期：2023年6月19日(月)～22日(木)

トレード期間

6月23日(金)～25日(日)

パブリック期間

②会場：パリ郊外ル・ブルジェ空港

③SJACブース

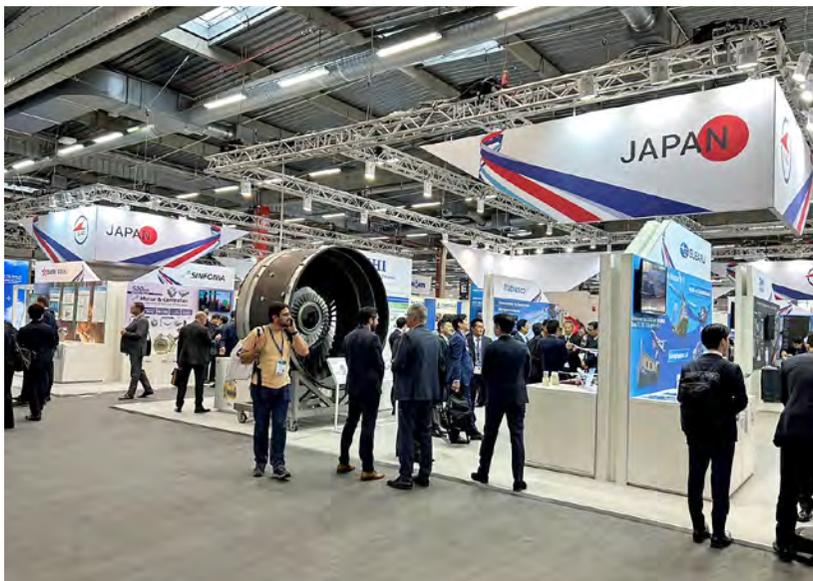
場所・面積：Hall 4 / C64・C78・D78、406㎡

出展会社：日本航空宇宙工業会 (SJAC)、

会員企業13社、及び非会員SME4社の計17社

- ・会員企業：(株)IHI、(株)IHI エアロスペース、住友精密工業(株)、大同特殊鋼(株)、イーグル工業(株)、川崎重工業(株)、日本飛行機(株)、三菱重工業(株)、ナブテスコ(株)、(株)プロテリアル、新明和工業(株)、シンフォニアテクノロジー(株)、(株)SUBARU
- ・SME：旭金属工業(株)、(株)スペースエンターテイメントラボラトリー、東洋鍛工(株)、大和合金(株)

Japan Aerospace Workshop、及び「2024国際航空宇宙展 (JA2024)」説明会、レセプションを6月21日(水)に開催。



SJACブースの外観

(2) 広報活動結果

①SJACブースの活動結果

- ・ SJACブースへの来場者
会期を通し各社ブースに2,299名、商談コー

ナーに326名、合計2,625名にご来場いただき盛況であった。

商談コーナーには開催初日から多くの出展企業及び会員企業にご利用いただいた。

<主な御来客>



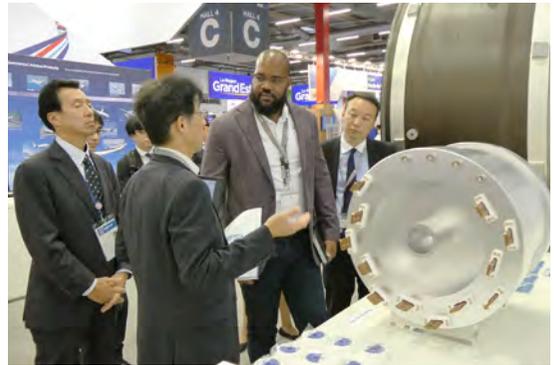
(左から)
衆議院議員（自民党副幹事長）宮澤 博行 様、
防衛装備庁 長官官房装備官（空将）
後藤 雅人 様



(右から二人目) 駐フランス日本国特命全権大使
下川 眞樹太 様
(左から) 経済産業省航空機部品・素材産業室長
岩崎 純一 様、在フランス日本国大使館参事官
(商務担当) 岡本 祐典 様



(中央) 在フランス日本国大使館次席兼経済
部長公使 安東 義雄 様
(左) 在フランス日本国大使館政務公使
吉武 将吾 様



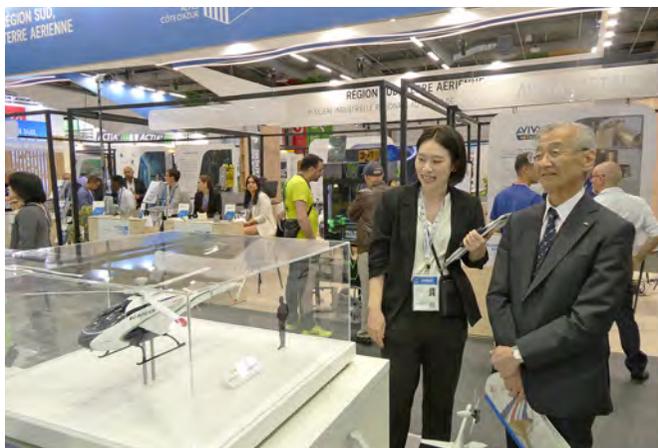
(右から二人目) 米国防総省（産業基盤開発・国際
協力担当）国防次官補代理 Justin K. McFarlin 様
(右) 経済産業省航空機武器宇宙産業課長
呉村 益生 様



(中央) 防衛省航空自衛隊航空幕僚長
内倉 浩昭 様



モデルロケット国際大会日本代表
札幌旭丘高等学校の皆様



SJACブースを視察する満岡会長

6月21日（水）にはSJACブースにおいて、多くの来場者を迎え、出展各社によるプレゼ

ンテーション“JAPAN AEROSPACE WORKSHOP”とJA2024の紹介を実施し盛況であった。

JAPAN AEROSPACE WORKSHOP
54th Paris Airshow
 Place: SJAC Booth Hall 4-D78
 Date: Wednesday June 21, at 10:00~13:00

Presenters

- SUBARU Corporation
- Sumitomo Precision Product Co., Ltd.
- Proterial, Ltd.
- ShinMaywa Industries, Ltd.
- Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.
- NIPPI Corporation
- Kawasaki Heavy Industries, Ltd.
- Nabtesco Corporation
- IHI Corporation
- IHI Aerospace Co., Ltd.
- Eagle Industry Co., Ltd.
- Sinfonia Technology Co., Ltd.

(in order of presentation)

The Society of Japanese Aerospace Companies (SJAC)
https://www.sjac.or.jp/en_index.html



JAPAN AEROSPACE WORKSHOP



JA2024の案内・出展招請

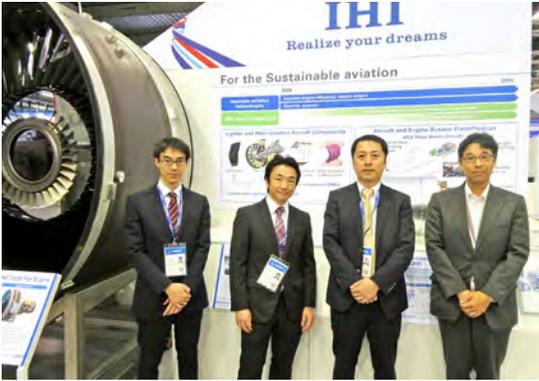
「Show Daily」6月20日号掲載 現地での告知

・ SJACブース出展概要

■ (株)IHI

エアバス A320 neo に搭載されている PW1100G-JM のCFRPファンモジュールと新技

術であるCMC (Ceramic Matrix Composite) 製部品、世界初のエンジン内蔵型電動機 (E3M) の模型等の展示により高度な技術力をアピール



PW1100G-JMエンジン CFRP
ファンモジュール



CMC (Ceramic Matrix Composite) 製
タービン部品



MW級低圧軸直結エンジン内蔵型電動機
(E3M) 模型

■(株)IHI エアロスペース

熱可塑性CFRPを使った世界初の構造翼(SGV)、製品よりコンパクトな設備を用いた

革新的製造方法による熱可塑性CFRP構造パネル等展示により高度な技術力をアピール



熱可塑性CFRP構造パネル、
チョップモールド成型FRP部品

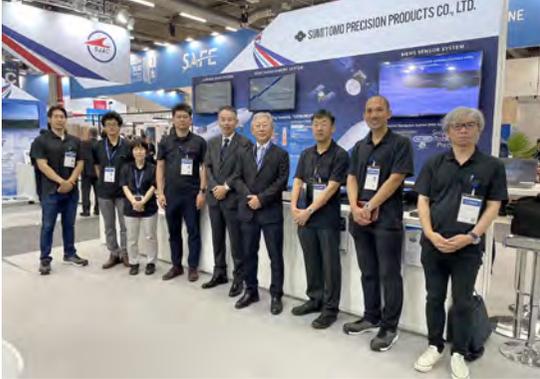


PW1100G-JMエンジン構造ガイドベーン

■住友精密工業(株)

降着装置関連機器、油圧機器、熱交換器、ナビゲーション・姿勢制御用MEMS (Micro

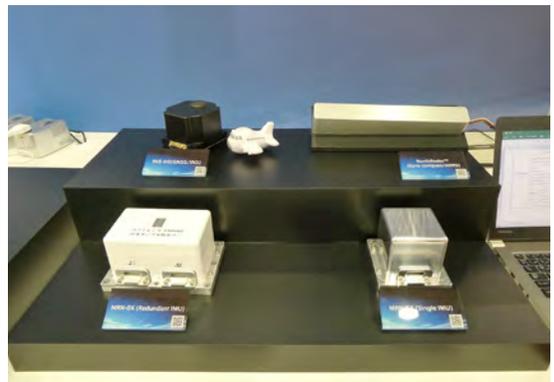
Electro Mechanical System) 慣性センサ等幅広い製品を展示



Gear EHA Assy、Door Actuator Assy、Downlock Release Actuator Assy



Siphorex、AM (Additive Manufacturing) Heat Exchanger



(左上より時計回り)
GNSS/INS、Gyro Compass/AHRS (Northfinder)、IMU (単系)、IMU (冗長)

■大同特殊鋼(株)

アジア初のエンジンOEMの高合金溶解認定を取得し、GE社、P&W社、R&R社の航空機

エンジンの回転軸の素材供給において高シェアを誇る同社の技術力と信頼性をアピール



TRIPLE MELTED 718 SHAFT

■イーグル工業(株)

シーリング・ソリューション・プロバイダー

として高度な技術力と信頼性を誇る同社の製品と開発への取り組みを紹介



ジェットエンジン・ロケットエンジン用各種シール、ペローズアキュムレーター、表面テクスチャー技術の紹介デモ機

■川崎重工業(株)

P-1哨戒機、C-2輸送機、MCH-101掃海・輸送ヘリコプター、K-RACER、BK117等の模型を展示し完成機メーカーとしての技術力と共

に、KJ300を始めとする各種エンジン・機器の模型・パネルの展示でシステムメーカーとしての取り組みと技術力をアピール



P-1哨戒機模型、C-2輸送機模型



左上からBK-117模型、K-Racer X2模型、MCH-101模型



KJ300模型



ミサイル模型 (コンセプト)

■日本飛行機(株)

映像により当社の製品やサービスを紹介するとともに、整備事業拠点である厚木工場の

整備用メインハンガーの模型を展示し、多様なニーズに対応できることをアピール



整備ハンガー模型

■三菱重工業(株)

787機体と主翼ボックスの模型、及び航空機製品ラインナップの壁面パネルで機体構造

を主体して幅広く事業展開を行っていることをアピール。CFRPリサイクルへの取り組みも紹介



787機体模型、主翼模型、CFRPリサイクル家電（掃除機）

■ナブテスコ(株)

ボーイング737MAX、777Xに搭載されるEHSV（電気油圧サーボバルブ）を内製化し

た電子制御フライトコントロールアクチュエータの実機展示により技術力・実績をアピール

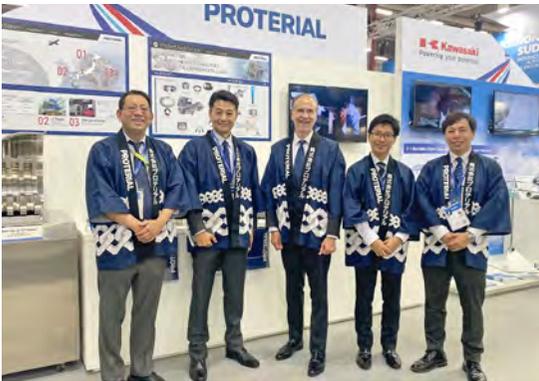


Boeing 777X Aileron PCU、
Boeing 737 MAX Spoiler PCU

■(株)プロテリアル

新社名「PROTERIAL」とチタン製蒸気タービンブレード、ニッケル製航空エンジンター

ビン部品・カットモデルの展示により高機能素材の製造能力をアピール



航空エンジン用低圧タービンモジュール



蒸気タービン低圧ブレード

■新明和工業(株)

救難飛行艇US-2の模型と映像展示により短距離着水性能、荒海着水性能、高輸送能力を

アピール。熱可塑複合材サンプルパネル・フロアパネルの展示で次世代航空機での適用可能性を紹介



救難飛行艇 US-2小型模型・映像



熱可塑複合材フロアパネル

■シンフォニアテクノロジー(株)
電動航空機向けに開発中の高出力密度



500kWモータを展示し先進性をアピール



高出力密度500kWモータ

■(株)SUBARU
多用途ヘリコプターUH-1シリーズでも定評

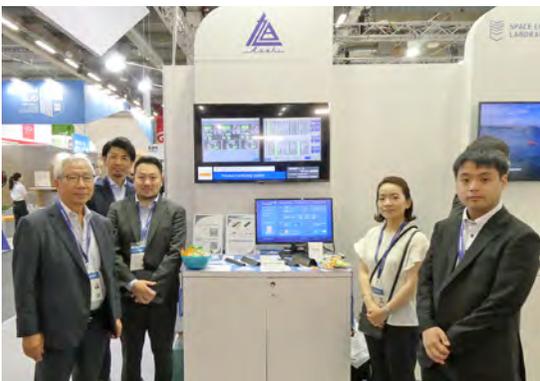


のあった安全性／信頼性をさらに向上させた
UH-2を模型展示により紹介



UH-2模型

■旭金属工業(株)
熱可塑性型複合材サンプル部品を展示



■(株)スペースエンターテイメントラボラトリー

海面離着陸UAV「HAMADORI 3000」(実用化済)「HAMADORI 6000」(開発中)と「HAMADORI Concept」(次世代機コンセプト)の模型・映像を展示



■東洋鍛工(株)

アクチュエーター向けギア、ドア用油圧装置向けシリンダーを展示



■大和合金(株)

ランディングギアブッシュを展示



②その他

会期中は比較的好天に恵まれ、エアショー
来場者数は292,579人（事務局発表）の大盛況
であった。防衛機・民間機の飛行展示も盛ん
に行われ、中でも日本企業が参画する777Xの
飛行展示が印象的であった。SJACブースには
過去最多の企業（会員13社、非会員4社 計17社）

が出展し、面積も過去最大の406㎡となり、
多数の来客が訪れ、ビジネスミーティングも
盛んに行われた。今回の出展が、日本の航空
宇宙産業を世界にアピールし、出展企業の次
のビジネスに繋がる好機となったであろうこ
とを期待している。



777-Xの飛行展示-1



777-Xの飛行展示-2



アテンダントの皆様、お疲れさまでした

〔(一社)日本航空宇宙工業会 国際部 部長 羽中田 実、広報部長 渡邊 新一〕